

みんな疲れているようだ。子どもも、若者たちも、大人も、高齢者の方も。勉強に、仕事に、人間関係に、みんな疲れている。ストレスがたまり、そこからいろいろな疾患や問題が生じている。学校の保健室を訪ねる子どもたちが増えているそうだ。その子どもたちの六人に一人は心の病だと専門家は分析する。身体の病気のいやしだけでなく、心の病のいやしを人々は求めている▼このように世相にあって「いや

01.63

地の塩

いる。人の顔についてさえ「あの人の顔はいやし系」などと表現する。人々は今、いやしを求めている▼あるカトリック

し系」という言葉がはやっているのも分かる。若者たちの間では「いやし系」の音楽がヒットし、CDの売り上げも増えて

の信徒の方が、他のキリスト教派の信徒の方から教会に誘われたそう。私には本当に教会によって救われた。とっても幸せです。あなたも来てみませんか。教会は心安らぐ良いところですよ」。カトリックの方は素直に思ったそう。私もこのように今の教会に人を誘うことができるだろうか。自分自身、信者であることに特別喜びを感じているわけでもない。このように言える人がうらやましい。私も自信をも

って『来てみませんか』と教会に人を誘えたらよいのだが……▼人に対する神の配慮は至れり尽くせりだ。御ひとり子を遣わし、私たちの罪を贖（あがな）い、ゆるしてくださった。聖霊を遣わし、私たちに「いやしの力」を与えて救ってください。すでに世界は聖霊に満たされている。それに気付けば勇氣と力が与えられる。いやし「系」ではなく、いやし「そのもの」である。きよつは「聖霊降臨」の祭日。（Y）